

言葉や文化の壁を越えた交流 中学生英語体験事業 in オーストラリア



8月16日から22日までの7日間、市内の中学3年生55人が中学校英語体験事業でオーストラリアを訪れました。子どもたちは、身振り手振りを交えながら、授業で学んだ英語を使ってオーストラリアの人々と交流し、生きた英語を学び、異なる文化を体験して見聞を広げました。

こんなことしてきました！ 研修スケジュール

8/16	常陸大宮市出発、 羽田空港～シドニー国際空港
8/17 8/20	ハイスクールでの授業体験、 校外学習、ホームステイ
8/21	自然・文化学習（牧場体験など）
8/22	シドニー国際空港～羽田空港、 常陸大宮市到着

参加者に聞きました！研修で感じたこと

- ▶英語が前よりちょっと出来るようになった。素早く英語を話しても何となく聞き取れるようになった。
- ▶言語がうまく通じなかったり、文化や風習が違うが、それらもひとつと認め気楽に行くと、楽しく学べた。絶対に機会があれば行くべきです！
- ▶自分の意見を積極的に言うことが大切ということをすごく感じました。挑戦することは大事。



1 校外学習で動物園に行き、カンガルーやコアラなど、オーストラリアならではの動物たちと触れ合いました。

2 バディとともに化学の授業を受けました。ベーキングパウダーと風船を使った実験です。さて、何色が一番膨らむでしょうか。

3 体育の授業では、オーストラリアで親しまれているダンスを踊りました。

4 スポーツデーの日は、バドミントンなどで体を動かしました。

5 学校遠足の様子です。学校の最寄り駅から現地の電車に乗って、シドニー市内の水族館に行きました。

6 4日間の授業とホームステイを共に過ごしたバディとの別れを惜しましました。